



東日本大震災311の 災害ボランティアに参加して -ボランティア作業を中心に-

平成23(2011)年4月27日

森野 治美

Plone研究会 会員

号外！



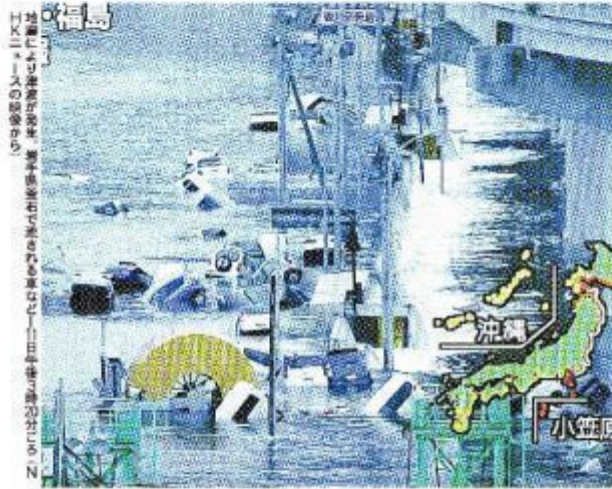
宮城 震度7

河北新報

3月11日(金)
河北新報社
〒980-0855 宮城県仙台市青葉区
「東」は、未来

M8.8 大津波被害

電話 002-211
読者相談室 1447
仙台 011-233-1111 東京 03-5561-1111
仙台支店 011-233-1111 東京支店 03-5561-1111
仙台支店内 011-233-1111
ご購読申し込みは
0120-09-9766



11日午後2時46分ごろ、東北地方を中心とする東日本の広い範囲で強い地震があり、宮城県で震度7を記録した。気象庁によると、震度7は宮城県北部、震源地は三陸沖で、震源の深さは約10キロ。地震の規模を示すマグニチュード(M)は8.8。

気象庁は岩手、宮城、福島、茨城を襲った。同市の港などの太平洋沿岸に大津波警報などで多数の車が海に流され、北海道から伊豆諸島など大きな被害が出ている。船が津波警報を出した。仙台市消防局によると、宮城県の女川原発が自動停止した。市内で火災5件の発生を確認。救助要請が2件、救急要請が8件、ガス漏れと油漏れが各1件、死傷者の情報は把握されていない。

震度6弱は、岩手県沿岸南部、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、宮城県南部、福島県会津、栃木県北部、栃木県南部、千葉県北部など。

気象庁によると、岩手県釜石市で最大4.2の津波を観測した。越前地帯以来、7年ぶり。



目次

- 参加したきっかけ
- 日程、場所
- やって来た事
- システムユーザ、システム構築側としての対応検討
- まとめ

参加したきっかけ

- 3月末に山スキーの友人が宮城県へ災害ボランティアに行行って話を聞いたこと。
 - すでに勤務先の一部社員は、ボランティア休暇を取得して、2週間実行済
 - 4月以降の早期退職プログラムで時間が自由
- ⇒(申し訳ないが)阪神・淡路大震災以上の悲惨さを直に感じたこと



日程、場所

- 日程
 - 4月14日(木)~4月20日(水)の1週間
- 場所
 - 宮城県登米市 旧鱒淵小学校体育館(拠点)
- 主な活動場所
 - 気仙沼市、石巻市
- 主催団体

RQ市民災害救援センター(略称「RQ」=レスキューの略)とは…

東日本大震災の被災者救援のために、3月13日に発足した任意団体です。

ます ぶち
■ 旧鱒淵小学校体育館/校舎全景



■ 旧鱒淵小学校体育館/校舎

体育館(支援拠点)



校舎(南三陸町避難所)



位置関係-登米市/気仙沼市/石巻市



東北道 ↓ ↓ 登米市



作業工程

参加

不参加

総務

電話対応/被災者要望/受付/ボランティア受入

キッチン

糧食/テント管理

フロア

物資受領/インベントリ/デリバリサポート

デリバリー

物資搬送/要望ヒアリング→反映/現地要望作業

河北支援

地域要望支援

温泉送迎

定期的入浴送迎

唐桑支援

地域炊出し支援

ひまわり

サロン/温水シャワー

一日の日程(デリバリー/フロア)

- 朝礼
- 作業(8:30～17:00)
 - 前日分担者と物資の抽出
 - 依頼元実施内容に基づいた道具確認/準備
 - デリバリー/要望ヒアリング/近隣状況の確認
- 終礼
 - 実施結果報告書作成
 - 振り返り
 - 翌日の分担決定、アレンジ

フロア作業(1)

- 物資の受け入れ
 - 在京本部、支援者/支援団体送付物資の受領
 - 受領物の確認
- 物資の仕分け、分類、整理
 - 開梱後の仕分け、定位置への配置
 - 一個の梱包物に複数種類物資の混載
 - 拠点における種類別場所への収納、配置
 - インベントリー管理

フロア作業(2)

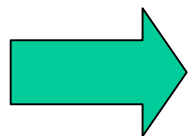
- デリバリーグループ配布用物資準備
 - 被災者への配送物の抽出と再梱包
 - 要請を受けた被災者要望品の収集
 - 現地スタッフへの配送品
- 被災者への個別対応
 - 個別訪問被災者への対応
 - (避難所と個別避難先あるいは自宅一部損壊者)
 - 要望ヒアリング

フロアの状況



デリバリー

- 物資の配送
- 被災者の要望ヒアリング
- 物資以外の困り事の相談
 - 水タンク-ほぼ毎日100リットル@小規模孤立避難者
 - 冬タイヤ⇒夏タイヤ交換
 - 自転車/一輪車のパンク修理
 - 家財の撤去/廃棄
 - 建具の取り外し



商売として実施できる場所、人も無くなってしまった

デリバリ途中の気仙沼市本吉地区



←海岸沿い(大谷海岸付近)

線路まで押し出された住宅→



高台の家(井戸有り、電気開通直後)



物資の搬送以外の要望

1,冬タイヤの交換

→GS/自動車工場の損壊

2,建具の取り外し

→地震で建物の歪みにより引戸/襖/障子の開閉が困難

物資の搬送以外の要望

1,パンク修理

2,タイヤ交換

近所では、家族縁者単位で避難を行いサポートしている。

→いわゆる避難所でない“避難所”



重点支援地区(河北)サポート



落橋した新北上大橋。手前は、上流500m地点まで押し流された鉄骨

作業内容

- 1, 床下/床上のヘドロ除去-床上2m浸水
- 2, 家財日用品の運び出し
- 3, 破壊機器(業務用冷蔵庫)類の撤去
- 4, 食料倉庫の米穀類の廃棄作業
- 5, 不用品/廃棄品の集積所への運搬

ITリソースとの関わり合い

- 現地本部
 - 携帯使用可能(FOMA/AU/SB/但しmovaはNG)
 - ネット利用可能(3G+WIFI)
 - GoogleDocumentsの利用
 - GoogleMapの利用-
 - 道路地図/地形図との併用
 - カーナビの地点登録点と照合
(分かりにくい私道-地図に未掲載)
- 停電あり



システム系への昇華？

- All-in-One災害パッケージ？
 - ボランティア受付
 - ボランティアアレンジ/ディプロイ
 - 物資のロジスティックス/インベントリ
 - 非公的孤立避難所対応
 - 要望リスト
 - 個別ボランティアの気づきだけではバラツキ
- #被災者は、多少の不足に関してはまだ寛容

システムとして何が貢献可能か

- Blogで義捐金、募金を実施
 - システムユーザとしての活用
- クラウド環境でのシステム提供
 - 現地での電源供給は、不安定/時刻制限
- ハイチ大震災時の事例
 - OSM(Open Street Map)の例⇒日本では?
- sinsai.infoから、各活動拠点への展開手順
- 地についたサポート
 - リスクを想定した準備と訓練
 - 原発事例と同じ?

色々な貢献の方法-謝々台湾計画Blog-



・台湾が多額の義捐金-140億円相当額以上-を集めてくれたが、日本政府の感謝広告から外された

⇒せめてお礼を言うのが礼儀だろう。現地新聞へ感謝広告をするための募金を超える金額は赤十字へ

4月26日締め切り
5月 3日掲載予定

6,000人強/約2,000万円-1週間

これからも継続的な人的支援

- 物資
 - 1ヶ月経過後も支援無し孤立グループの存在
 - 水道はなかなか復旧しない
 - 電気は突貫工事のタワー
 - 津波による被害-おそらく数年がかり-
 - 家屋の泥だし
 - 田畑の冠水土壌の入替、堆積ヘドロ、ごみ
 - 森林に散在する瓦礫の撤去
- #重機が必要な部分は、自衛隊/地元自治体

福島県を助け新潟県を支援するのは責務



- 福島県、新潟県(柏崎)は非東京電力管内！

-今回の事象が出るまで、全然知らなかった-

- 東京電力管内の人々は、辛い目に遭っている福島の人たちを支援するのは責務